



Etsuko's EYE



坂井提案の意見書が可決！

意見書に対する回答を求める意見書

市政に関わるけれど、市だけで解決できないことは、国などの行政機関に意見書を出し改善を求めることができます。現状、出しっぱなしなので、回答を求める意見書を提案し、可決しました。



“新型コロナ”が社会経済状況や市財政に与える影響に鑑み、

新庁舎等建設の見直しを求める決議

市議会最終日の10月6日に、決議が可決。坂井は反対しました。新庁舎建設が進められるのか？裏付けとなる財政計画が11月16日に示される予定なので、それを見ない段階で、市長に新庁舎等建設の見直しを求める判断に至りませんでした。



坂井のつぶやき：議会最終日は、久々に0時を超え、全ての日程が終わったのはAM2:35。さすがに堪えました。

ご意見・お困りごとはいかがですか

090-1796-7652

info@sakaietsuko.com



坂井えつ子 小金井市議 3期6年目

●1980年大阪生まれ。緑町に転入、現在は桜町在住。緑小、緑中、小金井北高、日本大学法学部卒業。日本福祉教育専門学校入学
●市議会：厚生文教委員、行財政改革推進調査特別委員、広報協議会委員(副座長)



この政策が

子育て環境日本一!? 公立保育園の廃園案にNO!

7月末に、突如示された公立保育園廃園(案)。来年の4月から、さくら保育園・くりのみ保育園の0歳児募集をストップし、在園児が卒園する2027年3月で廃園というスケジュールは見直され、1年延伸となりました。

市長提案の無理な進め方をSTOPさせる大きな要因となったのは、保護

可決 公立保育園の廃園方針(案)を巡り、混乱を招いていることに対し猛省を求める決議



者が出した「利用者等との十分な協議・理解を得ないまま公立保育園の廃園の準備行為の中止を求める陳情書」でした。6,155筆の署名を集めた陳情書を、議会は全会一致で採

択。保護者の意見を聞く期間も取らないスケジュールを提案した市長に、議会は「猛省を求める決議」を可決。坂井も、賛成しました。

民営化の提案をしていた際、市長は「保護者の理解を得るまでは進めない」としていたのが、廃園(案)の提案では、「理解を得るように尽くす」と譲らず、どれだけ求めても、保護者の理解については言及しません。

「対話とは、対話です。」

これは、“対話の市政”を掲げる市長に、「市長にとって対話とは？」と質問した際の答弁。もっと、懇切丁寧に質問しないと、質問の意図が伝わらないんだと、反省しました。

“子育て環境日本一”と“対話の市政”を掲げて当選した西岡市長です。市民との約束を守るよう、厳しい態度で臨みます。



小金井市議会議員

2021年第3回定例会 報告号

Vol.61

坂井えつ子のつながる小金井通信

2020年度一般会計決算：坂井は不認定としました

市長は、市民との約束を果たそう！

4年連続の不認定

2019年12月の市長選で当選した西岡市長の2期、1年目の決算は不認定。史上初の4年連続！坂井も不認定としました。



ここはダメ 市の計画で、はけと野川を壊す道路の整備を推進

市の計画である都市計画マスタープランを策定中です。中間報告(案)では、はけと野川を壊す路線も、都市計画道路11路線でまとめて「東京都と連携して、道路整備を計画的に進めます」としています。選挙時の訴えや、これを踏まえて2020年5月に都知事に出した要望書に反します。



2019年市長選のポスターに、追加で貼られたシールには、「3・4・1号線 3・4・1号線 市民の望まない都市計画道路は作らせない」とある。

ここはダメ 保育定員1,000名増の公約も、公立保育園廃園(案)の検討スタート

「保育園定員をさらに1,000名増加」と掲げ当選した西岡市長ですが、保育園の定員減となる公立保育園の廃園方針(案)の検討を始めました。情勢の変化による政策転換はあるにしても、政策の振れ幅がおおき過ぎ。説明責任が求められます。



廃園(案)対象のさくら保育園。



西岡市政6年間の決算審査(一般会計)

2022年4月～三小の給食調理業務が委託

給食の要となる栄養士1校1人配置が指針に明記！

国の政策誘導で、給食調理の委託が止まりません。給食の質を守る要のひとつが「栄養士の1校1人配置」。学校給食の指針に明記するよう求め続けてきたところ、市は、ようやく「今年度中に実現可能」としました。

求めてきた最小限は、なんとか獲得できました。市が、学校給食の質の維持向上に力を尽くすか、今後も、厳しく注視します。



持ち時間60分以内で、市政に関する質問や政策提案ができます！

坂井の一般質問



投票所での名前の読み上げをやめよう！プライバシーへの配慮を衆院選の期日前投票で何らかの対応がされる見込み

「投票所で名前を呼ばれるのが嫌で投票に行けない」という性的少数者の声から、本人確認方法を変えた自治体を紹介。多摩地域では5市で読み上げせず、1市ではコロナ対応で読み上げを中止しています。

市は、家族間での投票案内券の取り違えを懸念していますが、次の選挙の期日前投票所で何らかの対応を考えたいとのこと。



市立中学校での標準服は選択制

スラックスとスカートが選べることの周知が進みそう

市立中学校5校の標準服は、スラックスとスカートが自由に選べ、うち1校では、私服も認められています。申し出があれば、対応しているようですが、積極的に周知するように提案しました。

生徒や保護者の共通認識にしていくことが必要です。市は、新1年生保護者説明会で周知するよう学校に働きかけるとしました。



※採決態度について ・病欠1:共産①(寺内) ・鈴木議長(みらい①)は可否同数の場合のみ採決に参加 ・会派名は略称